
スーパーマリオブラザーズ（スピンオフ作品）

葵さくらこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパーマリオブラザーズ（スピンオフ作品）

【Nコード】

N2489L

【作者名】

葵さくらこ

【あらすじ】

スーパーマリオブラザーズ、スピンオフ作品です。疲れているのだろうか…??

微妙なの書いてしまった……。疲れているのだろうか……？？スーパーマリオブラザーズスピンオフ作品です。

- - -

「兄貴、ビビッてんの？」

弟はそう言って手に持ったキノコをオレに差し出した。
毒々しい色。赤と緑だ。ベニテングダケ？

いや、そんなレベルのサイズではない。

でかい。でかすぎる。

陽気な弟。警戒心の無い弟。「タバコより害が無いから」と言っ
が彼の口癖だが、本当だろうか？

僕はその毒々しい巨大なキノコを目の前にして、しばし考えた。

食ってよいものかどうか？

僕は『進む』（口に含む）か、『戻る』（適当に流す）か迷ったが、
「兄貴、ビビってんの？」（笑）のひと言でオレは心が揺らいた。

そうなんだ。

自分達兄弟は、イタリア移民だ。しがない配管工だが、少なくとも自分の勤務態度はまともだ。弟のように奔放に暮らしていない。弟のように、「猫が腹痛だから」という理由で三日も週に仕事を休むような勇気は自分には無い。

弟は好奇心が強く、楽道家。そして快樂主義者。後先考えない性格。

「兄貴がやんねーなら、オレ、ヤルから」

と言い、弟はその肉厚な菌糸類を手にし、キノコの房の一部を口に含んだ。

きたきたきたきたあ…

弟は小さくつぶやき、口にだらしない笑みを浮かべながら、恍惚の表情へと変わった。

きよだっ・・・きよだっ・・・きよだっ・・・

言葉に成り切れてない言葉を何やら発する弟。既に何らかの成分が脳に到達しつつあるようだ。それでもまだ恍惚。幸せそうな笑みを浮かべる弟の口から、だらしなく涎よだれの糸が落ちる。墮落者の表情。落伍者の表情。

きつと彼は『巨大化』と言いたいのだろう。言葉になれてない。このキノコに含まれる成分が脳に達すると、自分が巨大化したような感覚に陥り、『一度ぐらいならば死んでも大丈夫』という誇大妄想に取り憑かれるという。

そしてこの世に存在などしない”姫”などを助けにゆくと妄想を始めたり、『土管の中には金貨が眠ってる』などと、途方もない妄想に陥り始めるのだ。

それがこのキノコだ。名前は知らないが、レンガの割れ目とかに生えてる事があるらしい。

更に弟は、時折見せる痙攣と共に、「わーんあっぷー」とか、「星

「無敵！無敵！」などと意味を感じ得られない言葉を発し始めた。更に『土管の中には金貨が眠ってる』などと、途方もない妄想に陥り始めるのだ。

「姫を！姫を助けに行くんだお！！！！」

弟が突然立ち上がり、こう叫んだ！そして家を飛び出し、マンホールのフタをこじ開けようとした！お願いだ！お願いだから止めてくれ！！！！

まわりに人ばかりだ出来る。

「またあのマリオさんトコの兄弟よ……」と近所の主婦が陰口を叩く。もううんざりだ！

オレはその主婦に「黙れクソババア！」と暴言を吐き、殴りかかるうとしたところを、そのまま警察に連行された。

「まずは帽子を取りなさい」警察官にそう言われ、慣れた手つきで調書を取り始めた。今回は嚴重注意だ。次はブタ箱だから覚悟しておけ、この腐れ移民が！と釘を刺された。

この街は移民に冷たい。それは警察も同じだ。オレらはヤツラがやりたがらない仕事に従事し、この街にある程度有意義な風を吹き込んでいる事は確かだが、それでも差別の壁は高い。

隣で時折痙攣し、不明瞭な目つきと言動で、明らかに挙動不審な弟に対しては、「酒の飲み過ぎで」と言い訳をした。

「そしてお願いだから会社には言わないでくれ」と懇願した。

ただ、明らかに弟に不審さを感じた警察は、「血液検査していいか？」と言い出した為、オレは土下座し、それだけは勘弁して欲しいと懇願をした。

惨めだった。

家に戻っても弟は「わーんなっぷ!」とか、「無敵!星!無敵!」などと叫び続けている。

俺たちは夢を持ってこの街に来た。

俺たちのピーチ姫はどこにいるのだろうか?本当にいるのだろうか?
?

俺は安い焼酎を水道水で割り、ひとくち口に含んだ。

窓の外の安っぽいネオンと喧噪が、俺の心に酷く染み入った。

俺も巨大化しよう…。そして俺も弟のキノコの残りを口に含んだ。
そして旅に出た。不毛な空想の旅へと…。

>この作品、なんと 動画版もあります！ よろしければ動画でも
どうぞ！<

[http://www.nicovideo.jp/watch/
sm10690553](http://www.nicovideo.jp/watch/sm10690553)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2489/>

スーパーマリオブラザーズ（スピンオフ作品）

2011年1月9日17時27分発行